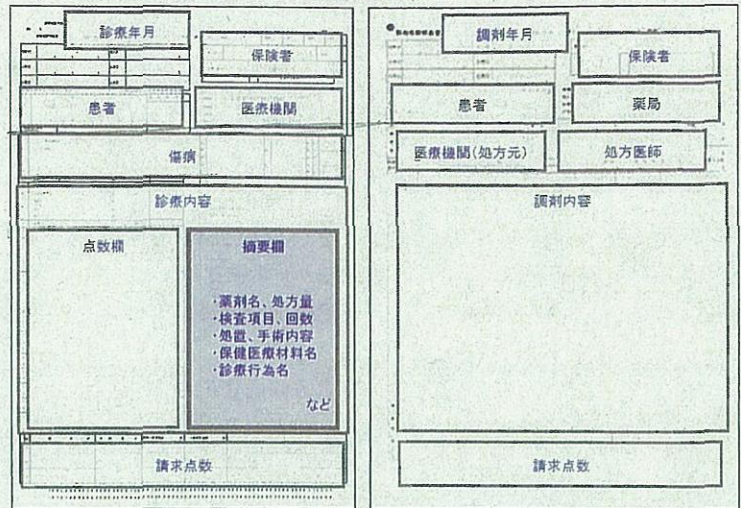


JMDC のレセプトデータ(医科レセプト、調剤レセプト)

- ◆ レセプトとは保険医療や調剤、介護における行為に対して、その報酬を医療保険者へ請求するためのものです。
JMDC の診療データベースは其中で、医科レセプトと調剤レセプトの 2 種類を扱っています(図 1)。医科レセプトは歯科を除く医療機関(病院・診療所)が、調剤レセプトは保険薬局がそれぞれ発行しています。発行されたレセプトは審査支払い機関^{*}を経て保険者へ届けられ、収集されます。

図 1. (イメージ)医科レセプト、調剤レセプト



- ◆ JMDC では健康保険組合(保険者)へ集められたレセプトからデータを入力しています。データ化し、製品(JMDC MDB)へ反映するまでに約 7 ヶ月という時間を要しているのはこのためです。
- ◆ ここで JMDC MDB の特徴(図 2)とわかること(表)を挙げてみます。

図 2. JMDC MDB の特徴

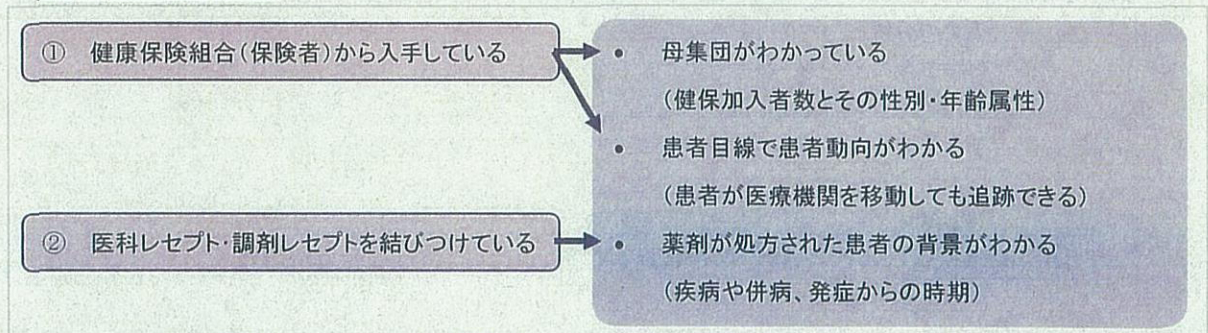


表. JMDC MDB からわかること

実患者数(単月、期間)
実患者数推計(単月、期間)
患者の受診回数・入院日数や受診間隔
患者の医療施設の移動
患者の時間的併病推移と治療内容
手術・検査ごとの実施実患者数と回数
患者ごとの薬剤投与量、投与日数(回数)
薬剤投薬期間(間隔)、変薬(変量)、治療中止
患者ごとの医療費
など

- ◆ JMDC MDB データでは、以上のことにより、これまでにお伝えしてきたような患者推計や疾患×医薬品の市場分析、また、患者の動向変化を時系列に追跡、分析することができるのです。そしてレセプト記載のあらゆる項目を使用することで表にあるような様々な情報を得ることも可能になっています。

^{*}審査支払機関:レセプトを審査するための第三者機関。社会保険診療報酬支払基金、国民健康保険団体連合会がある。